

Table des conditions d'utilisation et gestion des équipements -2


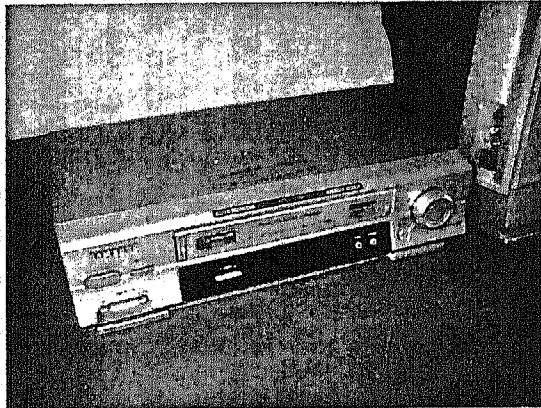
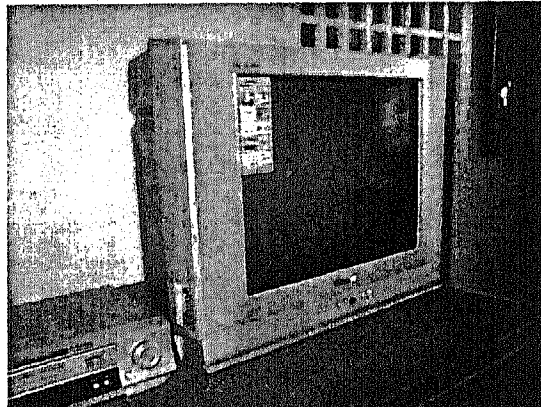
<p>Sonde</p>	<p>Date de fourniture</p>	<p>25/05/2003</p>
	<p>Place d'installation / de garder</p>	<p>-Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda -DGRE</p>
	<p><u>Etat actuel d'installation</u> SM / LOUGA, KAOLACK et TAMBACOUNDA: déjà installé DGRE : prévu à janvier 2004</p>	
	<p><u>Etat d'utilisation</u> Mesuré la niveau statique des forages dans les sites cibles de Groupe-1 et des piézomètres.</p>	
	<p><u>Responsable de gestion</u> Chef de Subdivision Maintenance</p>	
<p>Projecteur Vidéo « VHS »</p>	<p>Date de fourniture</p>	<p>26/05/2003</p>
	<p>Place d'installation / de garder</p>	<p>Bureau du projet à Dakar Ciné-bus Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda</p>
	<p><u>Etat actuel d'installation</u> SM / LOUGA : déjà installé</p>	
	<p><u>Responsable de gestion</u> Chef de Subdivision Maintenance</p>	
<p>Ecran de Projection</p>	<p>Date de fourniture</p>	<p>26/05/2003</p>
	<p>Place d'installation / de garder</p>	<p>Bureau du projet à Dakar Ciné-bus Subdivision de maintenance de Louga et Tambacounda</p>
	<p><u>Etat actuel d'installation</u> SM / LOUGA : déjà installé</p>	
	<p><u>Responsable de gestion</u> Chef de Subdivision Maintenance</p>	

Table des conditions d'utilisation et gestion des équipements -3

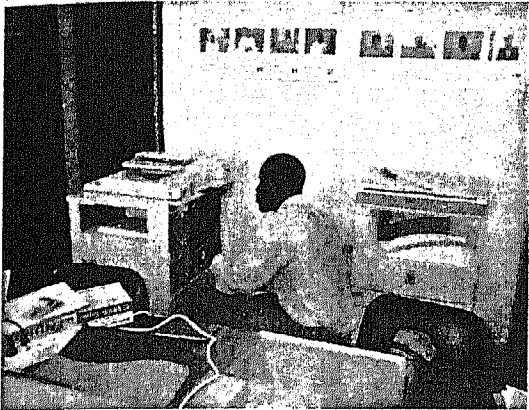

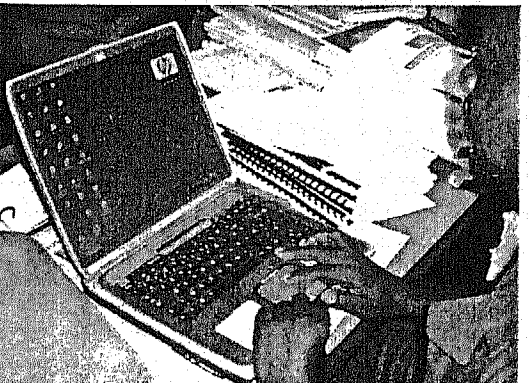
Photocopieuses	Date de fourniture	15/06/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	<u>Etat actuel d'installation</u> déjà installé	
	<u>Etat d'utilisation</u> Documentation, etc	
	<u>Responsable de gestion</u> Equipe du projet	
Ordinateur PC	Date de fourniture	01/03/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda
	<u>Etat actuel d'installation</u> Bureau du projet et SM / LOUGA : déjà installé	
	<u>Etat d'utilisation</u> Documentation Etablissement de accueil de page Etablissement de la base de donnée sur entreprise privée etc.	
Ordinateur PC portable	Date de fourniture	01/03/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	<u>Etat d'utilisation</u> Documentation Présentation de la seminaire etc.	

Table des conditions d'utilisation et gestion des équipements -4

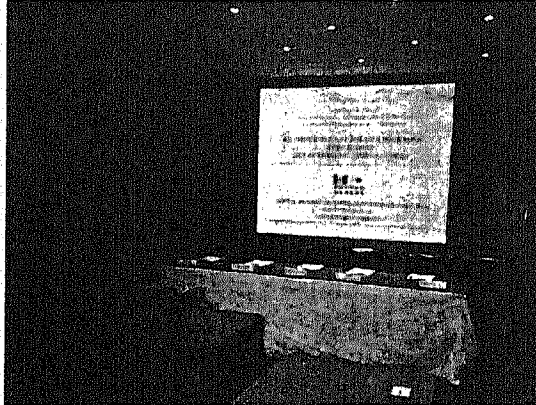
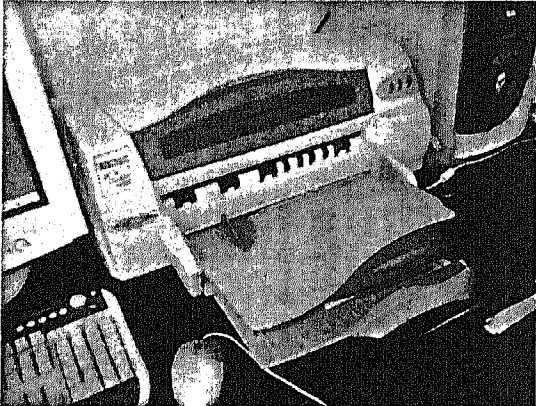
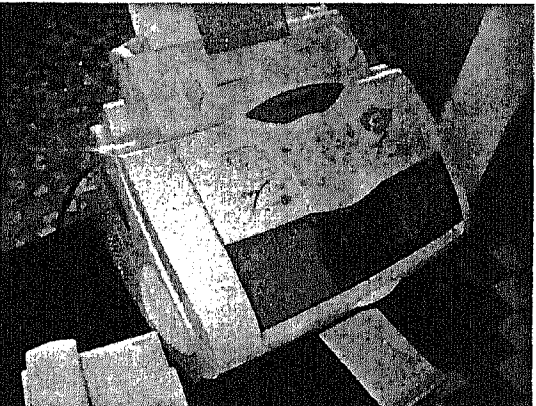


Projecteur, Ecran de projection	Date de fourniture	26/02/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	<u>Etat d'utilisation</u> Workshop et seminaire	
	<u>Responsable de gestion</u> Equipe du projet	
Imprimante	Date de fourniture	21/02/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda	
	<u>Etat actuel d'installation</u> Bureau du projet et SM / LOUGA : déjà installé	
<u>Etat d'utilisation</u> Documentation		
Télécopieur	Date de fourniture	21/02/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda	
<u>Etat actuel d'installation</u> déjà installé		

Table des conditions d'utilisation et gestion des équipements -5

UPS	Date de fourniture	21/02/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar Subdivision de maintenance de Louga, Kaolack et Tambacounda
	<u>Etat actuel d'installation</u> Bureau du projet et SM / LOUGA : déjà installé	
Digital Vidéo Caméra	Date de fourniture	21/02/2003
	Place d'installation / de garder	Bureau du projet à Dakar
	<u>Etat d'utilisation</u> Enregistrer les activités	
	<u>Responsable de gestion</u> Equipe du projet	

14. プロジェクト事業進捗報告書

14-1 プロジェクト事業進捗報告書
(第2年次)

プロジェクト事業進捗報告書1：石井信行／総括・啓蒙普及（行政）
 成果（期間：10/2003～03/2004）（成果はPDMにおける成果と同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	DEM内に下記3種の定例協議会を設置し、給水施設維持管理システム構築に向けて行政、村落住民および民間業者の役割を明確にする。 ・DEM7プロジェクト代表者連絡協議会 ・維持管理本部長連絡協議会 ・3局(DEM・DEH・DGRE)連絡協議会	3種の協議会において行政、村落住民および民間業者の役割に関する試案が作成され、第2年次活動報告セミナーで関係機関に公表され、引き続き詳細な検討を進めることが合意された。	
	1-2. 行政側が2ヶ月に1回の割合で対象サイトの定期点検を行う。			
	1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。			
3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行なわれる。	3-1. 対象サイトで月に1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	水利用ガイドラインを作成し、対象サイト代表者及び関係機関よりプロジェクトに対する理解と協力を得るべく、下記セミナーを開催し、適正な水利用及び給水施設維持管理に関わるシステム構築に関する認識の共有を図る。 ・第2年次活動報告セミナー	左記セミナーが期間内に実施され、プロジェクトの各活動に関する趣旨、進捗状況が報告された。	インパクト（プラス/マイナス） 期間内に実施された連絡協議会において、関係機関及び参加者から対象地域での活動に関する合意、期間内の活動進捗に関する理解を得た。

プロジェクト事業進捗報告書2：石井信行／総括・啓蒙普及（行政）
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2003～03/2004、PDM 成果）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	10	11	12	1	2	3		
	実施	10	11	12	1	2	3		
1-2 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。	予定							
	実施	—————							
1-3 ASUFOR 普及サイトを決定する。	予定							
	実施	—————							
1-4 行政による啓蒙普及体制（活動の評価・モニタリングを含む）を確立する。	予定							
	実施	—————							
2-7 活動予定を基に水管理組合に関する/ 2-8 持続的な観が利用モデルに関するセミナーを開催する	予定					○			
	実施					●			
カウンターパートへの技術移転進捗状況									(目的) ・行政、村落住民および民間業者の詳細な役割の決定 ・民間業者の導入手法の検討 ・給水施設維持管理システムにおける行政側の体制に関する整備 (活動プログラム) ・地方給水事業におけるセネガル側の改革を視座に入れた維持管理体制の策定 ・地域の状況に応じた民間業の選定に関する具体案の策定 ・村落住民と民間業者の維持管理契約形態に関する試案の策定と実施
カウンターパートは、プロジェクトチームと共に第2年次の各種現地調査や関係機関との協議等の実施を通じて、プロジェクト活動の中で発生する様々な諸問題への対応や問題解決に取り組んでおり、各活動の実施における計画管理や調整手法等に焦点を当てた技術移転を行なった。004年1月に約2週間のカウンターパート本邦研修における、日本のODA概要とアフリカ・セネガルに対する取組み、プロジェクト管理、住民参加型給水事業、プロジェクトのモニタリング及び評価等を通じて、本プロジェクトで指導的役割を担う能力を更に深めた。									

プロジェクト事業進捗報告書 1：石井信行
 成果（期間：4/2003～9/2003）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	DEM内に下記3種の定例協議会を設置し、給水施設維持管理システム構築に向けて行政、村落住民および民間業者の役割を明確にする。 ・DEMプロジェクト代表者連絡協議会 ・維持管理本部長連絡協議会 ・3局(DEM・DEH・DGRE)連絡協議会	3種の協議会において行政、村落住民および民間業者の役割に関する試案が作成され、第2年次中間報告セミナーで関係機関に公表され、引き続き詳細な検討を進めることが合意された。	
	1-2. 行政側が2ヶ月に1回の割合で対象サイトの定期点検を行う。			
	1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。			
3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行なわれる。	3-1. 対象サイトで月に1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	対象サイト代表者及び関係機関よりプロジェクトに対する理解と協力を得るべく、下記セミナーを開催し、適正な水利用及び給水施設維持管理に関するシステム構築に関する認識の共有化を図る。 ・ルガ地方セミナー ・第2年次中間報告セミナー	左記セミナーが期間内に実施され、プロジェクトの各活動に関する趣旨、進捗状況が報告された。	インパクト（プラス/マイナス） 期間内に実施された連絡協議会において、関係機関及び参加者から対象地域での活動に関する合意、期間内の活動進捗に関する理解を得た。

プロジェクト事業進捗報告書 2：石井信行
 成果に向けての事業進捗状況（期間：4/2003～9/2003、PDM 成果）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9		(目的)
	実施	4	5	6	7	8	9		
1-1 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。	予定						→		・行政、村落住民および民間業者の詳細な役割の決定 ・民間業者の導入手法の検討 ・給水施設維持管理システムにおける行政側の体制に関する整備 (活動プログラム) ・地方給水事業におけるセネガル側の改革を視座に入れた維持管理体制の策定 ・地域の状況に応じた民間業者の選定に関する具体案の策定 ・村落住民と民間業者の維持管理契約形態に関する試案の策定と実施
	実施						→		
1-3 ASUFOR 普及サイトを決定する。	予定						→		
	実施						→		
1-4 行政による啓蒙普及体制（活動の評価・モニタリングを含む）を確立する。	予定						→		
	実施						→		
2-5 活動予定を基に水管理組合に関する/ 2-6 持続的な観測利用モデルに関するセミナーを開催する	予定						○		
	実施						●		
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは、プロジェクトチームと共に第2年次の各種現地調査や関係機関との協議等の実施を通じて、プロジェクト活動の中で発生する様々な諸問題への対応や問題解決に取り組んでおり、各活動の実施における計画管理や調整手法等に焦点を当てた技術移転を行なった。セミナー等においては JICA 専門家とカウンターパートがペアとなって発表内容を分担してプレゼンテーションを行なった。カウンターパートの習熟度に応じて技術移転が第2年次後期以降も引き続き必要である。									

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 吉川 淳 / 給水施設

成果 (期間 : 04/2003~09/2003) (成果はPDMにおける成果に同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	グループ1対象サイトにおいて、給水施設に関わる維持管理費用の調査を行う。	各対象サイトのオペレータに対し、これまでの修理実績、水栓等修理部品の購入先、購入金額等の聞き取り調査を実施した。	対策
	1-3 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。	グループ1対象サイト周辺における民間メンテナンス業者の実態調査(専門技術、人員、所有資機材等)を実施し、結果をデータベース化する。	グループ1対象サイト地域である Louga 州において、15ヶ所の民間メンテナンス業者の実態調査を実施し、調査結果をデータベースとしてまとめた。	
2 水管理委員会が適正に運営される。	2-1 対象サイトで従量制により水料金が徴収される。	グループ1対象サイトにおいて施設現況調査を実施し、従量制による水料金徴収のための水道メータ設置計画を策定する。同計画に基づき必要な資機材の調達を行う。	グループ1対象6サイトで施設現況調査を実施し、水道メータ設置計画を策定した。JICA セネガル事務所より機材供与費を受領し水道メータおよび必要資機材の現地調達を行った。	インパクト(プラス/マイナス) これまで情報がなかった地方部(Louga)の民間業者の実態が調査され、住民主導による給水施設メンテナンスに十分に活用できる業者が多く確認された。この情報は今後の維持管理システム構築に有効に活用される。

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 吉川 淳 / 給水計画

成果に向けての事業進捗状況 (期間 : 04/2003~09/2003) (活動はPDMにおける活動に同じ)

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9		(目的) 1. 施設オペレータの維持管理能力の向上 2. 行政/住民/民間業者連携による維持管理システム構築 3. ASUFOR 普及 (活動プログラム) 1. オペレータ研修教材の整備とメンテナンス作業技術指導 2-1 グループ2対象地域における民間業者の実態調査 2-2 給水施設維持管理システムに関わるデータベース整備 3. グループ2対象サイトの水道メータ調達・設置
	実施	4	5	6	7	8	9		
1-2 給水施設の補修・改修・拡充システムを構築する(給水施設現況調査、資機材調査、関連データベース整備等)	予定						→		
	実施						→		
1-3 ASUFOR 普及サイトを選定する	予定						→		
	実施						→		
1-3-1 ルガ維持管理本部セミナー施設の改修工事を実施する	予定						→		
	実施						→		
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは Louga 維持管理本部所長であり、昨年までは本プロジェクトと類似した活動を実施しているベルギープロジェクトで給水施設維持管理担当業務に従事していたため、施設メンテナンスについての知識、技術、経験を有している。日本プロジェクトへの参加は初めてであったため、日本の無償資金協力により建設された給水施設の仕様の特徴、当時の計画内容を具体的に説明し、より適切で具体的な給水施設維持管理手法を見出す事に主眼を置き、係る技術移転を行っている。特にプロジェクトの立ち上げ時期であるフェーズ1普及体制構築期においては、常に情報を共有し個々の活動を可能な限り協同で行うことに留意した。加えて、これまでにを行った2回の活動進捗報告セミナーとプロジェクトチーム内のPCMワークショップを通して、日本プロジェクトの特徴やPDMを用いたプロジェクト評価の方法にも深い理解を示している。当方がセネガル不在の期間でも、プロジェクトの成果達成に向けて、DEMスタッフ、ASUFORメンバー、施設オペレータ、そして民間業者を積極的に指導していきける能力を身に付けている。									

プロジェクト事業進捗報告書1：吉川 淳／給水施設
 成果（期間：10/2003～03/2004）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	グループ2,3対象サイトにおいて、給水施設に関わる維持管理費用の調査を行う。	各対象サイトのオペレータに対し、これまでの修理実績、水栓等修理部品の購入先、購入金額等の聞き取り調査を実施した。	対策
	1-3 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。	グループ1,2,3対象サイト周辺における民間メンテナンス業者の実態調査（専門技術、人員、所有資機材等）を継続的に実施する。	グループ1,2対象サイトの民間メンテナンス業者のデータベース作成、及びグループ3の民間メンテナンス業者データの収集した。	
2. 水管理委員会が適正に運営される。	2-1 対象サイトで従量制により水料金が徴収される。	グループ2対象サイトにおいて施設現況調査を実施し、従量制による水料金徴収のための水道メータ設置計画を策定する。同計画に基づき必要な資機材の調達を行う。	グループ2対象6サイトで施設現況調査を実施し、水道メータ設置計画を策定した。JICA セネガル事務所より機材供与費を受領し水道メータおよび必要資機材の現地調達を行った。	インパクト（プラス/マイナス） これまで情報がなかった地方部（Louga）の民間業者の実態が調査され、住民主導による給水施設メンテナンスに十分に活用できる業者が多く確認された。この情報は今後の維持管理システム構築に有効に活用される。

プロジェクト事業進捗報告書2：吉川 淳／給水計画
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2003～03/2004）（活動はPDMにおける活動に同じ）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	10	11	12	1	2	3		(目的) 1. 施設オペレータの維持管理能力の向上 2. 行政/住民/民間業者連携による維持管理システム構築 3. ASUFOR 普及
	実施	10	11	12	1	2	3		
1-2 給水施設の補修・改修・拡充システムを構築する（給水施設現況調査、資機材調査、関連データベース整備等）	予定				→			(活動プログラム) 1. オペレータ研修の実施指導 2-1 グループ2対象地域における民間業者の詳細実態調査 2-2 給水施設維持管理システムに関わるデータベース整備 3. グループ2,3対象サイトの水道メータ調達・設置
	実施	→							
1-3 ASUFOR 普及サイトを選定する	予定							
	実施	→							
1-5-1 ルガ維持管理本部セミナー施設の改修工事を実施する	予定					○			
	実施					●			
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは Louga 維持管理本部所長であり、これまでに行ったセミナーとプロジェクトチーム内での PCM ワークショップを通して、日本プロジェクトの特徴や PDM を用いたプロジェクト評価の方法にも深い理解を示している。 2004年1月に約3週間のカウンターパート本邦研修における、日本の ODA 概要とアフリカ・セネガルに対する取組み、プロジェクト管理、住民参加型給水事業、プロジェクトのモニタリング及び評価、井戸掘削・給水施設現場の視察を通じて、本プロジェクトで指導的役割を担う能力を更に深めた。									

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 深井善雄
 成果 (期間: 4/2003~9/2003) (成果は PDM における成果に同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
1 水管理委員会が適正に運営される	2-1 対象サイトで従量制により、水料金が徴収される	2-①ASUFOR 啓蒙教材が制作される	左項の項目は全て期間内に実施された	
	2-2 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる	2-②第1グループのベースライン調査を実施される		
	2-3 対象サイトで水管理委員会が銀行口座を開設する	2-③DEM アニメータに対するASUFOR 啓蒙普及研修が実施される		
	2-4 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が関与される	2-④第2グループのサイトが選定される 2-⑤ASUFOR 啓蒙普及活動計画が策定される		
4 実証サイトにおける生産活動が多様化する	4.1 実証サイト住民がX年までに新たな水の有効利用方法を習得する	4-①実証サイトにおいてベースライン調査を実施される	対策	効果 (プラス/ マイナス) ・地方意地管理センターとの交流が活発になり、ASUFOR 全国展開に向けた方策に見通しが立った ・アニメータの不足を地方維持管理センター職員で補う見通しが立った ・教材の効果の見通しが立った
		4-②実証サイト住民のニーズを把握される		
		4-③ニーズに沿って活動計画が検討される		
5 対象サイト住民の安全な水に関わる衛生習慣が改善される	5.1 安全な水に関わる衛生教育実施対象サイトの住民が適切な衛生習慣を実践する	5-①衛生啓蒙普及教材が作成される		
		5-②DEM アニメータに対して、衛生啓蒙普及研修が実施される		

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 深井善雄
 成果に向けての事業進捗状況 (期間: 4/2003~9/2003、PDM 成果)

活動	事業進捗状況								期間中直面した問題	次段階の目的と活動
	予定	4	5	6	7	8	9	9		
2-①ASUFOR 啓蒙普及教材を作成する	予定						カウンターパートの1名がプロジェクト参加意欲と言う点で希薄であったため、当事者を含めてセネガル側と今後の対応を協議している段階である。	(目的) ・ASUFOR 啓蒙普及活動の継続 ・モクリソク体制の確立と実施 ・保健衛生教育の準備、実施 ・生産活動多様化プログラム内容の協議、準備および活動開始 (活動プログラム) ・第2グループへのASUFOR 啓蒙普及 ・生産活動多様化サイトにおけるプログラム実施準備作業および実施 ・保健衛生教育の実施
	実施							
2-②第1グループのベースライン調査を実施する	予定							
	実施							
2-③ASUFOR 啓蒙普及員養成研修を実施する	予定								
	実施								
2-④ASUFOR 啓蒙普及活動計画を策定する	予定								
	実施								
2-⑤第2グループのサイトが選定される	予定								
	実施								
4-①生産活動多様化サイトでベースライン調査を実施する	予定								
	実施								
4-②ニーズに沿った活動の具体案の検討を開始する	予定								
	実施								
5-①保健衛生教材が作成する	予定								
	実施								
5-②普及員に対して保健衛生教育研修を行う	予定								
	実施								
カウンターパートへの技術移転進捗状況 ASUFOR 啓蒙普及にかんする技術移転はDEM 本局に勤務する正規カウンターパートおよび地方に配属されているDEM 職員に対しても着実に技術移転は進んでいる。実地研修の様子からも啓蒙普及ノウハウを習得しつつあることが伺えた。また、ベースライン調査実施時においてもカウンターパートを同行させ、それら手法について技術移転を行った。										

プロジェクト事業進捗報告書1：深井善雄／副総括・住民組織化
 成果（期間：10/2003～3/2004）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
2 水管理委員会が適正に運営される	2.2 対象サイトで従量制により、水料金が徴収される	2-①グループ1,2に対してASUFOR啓蒙普及計画が策定され、DEM 本局、地方職員、先進サイトメンバーによってASUFOR啓蒙普及が実施される	・交通事情が悪いサイトではシネバス上映会後を実施していない	シネバス上映会後、帰路は夜間となるため上映を見合わせている
	2.5 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる	2-②第3グループの枠が選定される		
	2.6 対象サイトで水管理委員会が銀行口座を開設する	2-③第2,3グループのベースライン調査を実施される		
	2.7 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が聞かされる	2-④第1,2グループに対してモニタリングシートを配布し、記入方法を指導する		
4 実証サイトにおける生産活動が多様化する	4.2 実証サイト住民がX年までに新たな水の有効利用方法を習得する	4-①ニーズに沿った活動計画が立案される	・交通事情が悪いサイトではシネバス上映会後を実施していない	対策 交通事情が悪いサイトに対しては1晩サイトに宿泊できるよう住民側と協議する 効果（プラス/ マイナス） ・ ASUFOR 啓蒙普及時に地方職員の起用を積極的に行った結果、地方職員の自覚が生まれ始めた。 ・ 収入向上プログラムの具体化が進むにつれ、住民の意識が高まってきている ・ シネバス上映会による啓蒙普及はとくに農村部において大きな成果を出している
		4-②活動を実施するための体制が決定される（参加者も確定される）		
		4-③活動実施に向けた準備が始め、環境が整い次第活動を開始する		
5 対象サイト住民の安全な水に関わる衛生習慣が改善される	5.2 安全な水に関わる衛生教育実施対象サイトの住民が適切な衛生習慣を実践する	5-①第1グループに対して衛生啓蒙普及研修が実施される(シネバスを含む) 5-②水場の環境整備計画が立案され、モデルサイトにおいて環境整備が実施される		

プロジェクト事業進捗報告書2：深井善雄／副総括・住民組織化
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2003～3/2004、PDM 成果）

活動	事業進捗状況							期間中直面した問題	次段階の目的と活動	
	予定	10	11	12	1	2	3			
2-(1) グループ1,2に対してASUFOR啓蒙普及する	予定	カウンターパートの1名がプロジェクト参加意欲と言う点で希薄であったため、当事者を含めてセネガル側と今後の対応を協議している段階であり、結論は出ていないが、実質的にはプロジェクト活動に参加していない状況にある	(目的) ・ ASUFOR 啓蒙普及成果の検証 ・ 住民による生産活動多様化活動実施 ・ 住民生活の環境向上 (活動プログラム) ・ ASUFOR 啓蒙普及 ・ ASUFOR モニタリング体制の確立、実施 ・ 保健衛生教育の実施 ・ 生産活動多様化プログラム活動の継続	
2-(2) 第3グループの枠を選定する	予定			
2-(3) 第2,3グループのベースライン調査を実施する	予定			
2-(4) 第1,2グループに対してモニタリングシートを配布し、記入方法を指導する	予定			
4-(1) ニーズに沿った活動計画を立案する	予定			
4-(2) 活動を実施するための体制を決定する(参加者も確定する)	予定			
4-(3) 活動実施に向けた準備が始め、環境が整い次第活動を開始する	予定			
5-(1) 第1グループに対して衛生啓蒙普及研修を実施する(シネバスを含む)	予定			
5-(2) 水場の環境整備計画が立案され、モデルサイトにおいて環境整備を実施する	予定			
カウンターパートへの技術移転進捗状況										
DEM 本局職員および地方職員の ASUFOR 啓蒙普及活動における積極的な参加は非常に評価でき、経験が積み重なると共に次ステップの活動を先読みして作業を進めるなど確実に ASUFOR 啓蒙普及技術の移転は進んでいることが伺える。										

プロジェクト事業進捗報告書 1：永沼俊道

成果（期間：6/2003～7/2003）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行なわれる。	3-1. 対象サイトで月に1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	・セネガルにおける水理地質的な特徴と一般的な水源井の特徴について調査を行なう。	DGRE に整備されている既存資料・データを収集した。	対策 インパクト（プラスマイナス） 期間内に実施された DGRE との共同作業によって、本プロジェクトにおける水源井に係わるDEMとDGRE連携の重要性が再認識され、地下水モニタリングシステムを構築に係わる具体的な協議が開始された。
	3-2 対象サイトで年に1度の割合で水質が検査される。	・対象サイト及びその周辺の水源井に関する実態調査を行い地下水ポテンシャルの検証を行う。	乾期における対象サイトでの検証を行なった。引き続き雨期における状況についての調査を行なう。	
		・地下水ポテンシャルのモニタリングシステムを構築に係わる準備作業を行なう。	DGRE で現在行なわれているモニタリングの実態を把握し、システム構築に向けた協議を開始した。	
		・井戸更生に係わる井戸カメラのトレーニングを実施し、維持管理本部スタッフの能力を向上させる	ルガ維持管理本部において井戸カメラのトレーニングを実施した。	
	3-1. 対象サイトのオペレーターと水管理委員が水利用ガイドラインについて説明できる。	地下水ポテンシャルの検証作業結果をもとに、対象サイト住民により実施される水利用管理に供するガイドラインを作成すべく、試作品を作成する。	対象サイト住民の理解を考慮しビジュアルなガイドラインを試作した。	

プロジェクト事業進捗報告書 2：永沼俊道

成果に向けての事業進捗状況（期間：6/2003～7/2003、PDM 成果）

事業進捗状況									期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9			
	実施	4	5	6	7	8	9			
3-1 対象サイトで地下水ポテンシャルを検証する。	予定	→							(目的) ・対象サイトでの適正な水利用を図る体制づくりとマニュアル及びガイドラインの整備 ・井戸更生作業に関わるトレーニングを通じて維持管理本部スタッフの能力向上を図る。
	実施		→							
3-2 井戸更生に係る維持管理本部スタッフの能力を向上させる。	予定	→							(活動プログラム) ・地下水モニタリングシステムの確立とモニタリング業務マニュアルの作成 ・対象サイト毎の水利用ガイドラインの作成 ・井戸更生作業に関わる井戸カメラの操作・維持管理指導の実施（タンパング及びカオラック）
	実施		→							
3-3 対象サイトで地下水モニタリングシステムを強化・構築する。	予定	→							
	実施		→							
3-4 需給バランスに基づいた水利用に関するガイドラインを作成する。	予定			→						
	実施			→						
カウンターパートへの技術移転進捗状況										
<p>水資源担当のカウンターパートについては、実施機関である DEM には水理地質担当部門がなく、適任者がいないため、2003年5月に局 (Direction)として再編された水資源計画管理局 (DGRE)よりカウンターパートが選出された。DGREはセネガルの地下水モニタリングを実施しており、カウンターパートは担当分野に関して十分な知識・経験を有している。今後は、より適正なモニタリング方法に関する協議や、DEMとDGREの効果的・効率的な連携活動に関する技術移転を行ってゆく予定である。</p>										

プロジェクト事業進捗報告書1：井上 茂／村落開発1（営農）
 成果（期間：10/2003～3/2004）（成果はPDMにおける成果と同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
4 実証サイトにおける生産活動が多様化する	4.1 実証サイト住民がX年までに新たな水の有効利用方法を習得する	4-①TAIBA NDIAYE においてニーズに沿った営農事業化計画が立案される 4-②TAIBA NDIAYE において活動を実施するための体制が決定される（参加者も確定される） 4-③TAIBA NDIAYE において活動実施に向けた準備がなされる（資機材購入、施設建設等） 4-④TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH 周辺地域において市場調査が実施される 4-⑤MOUKH MOUKH において営農計画が立案される 4-⑥MOUKH MOUKH において活動を実施するための体制が決定される（参加者も確定される） 4-⑦MOUKH MOUKH において活動実施に向けた準備がなされる（資機材購入、施設建設等）	左項についてすべて予定とおり実施された	対策 効果（プラス/マイナス） ・ 収入向上プログラムの具体化が進むにつれ、住民の意識が高まってきている

プロジェクト事業進捗報告書2：井上 茂／村落開発1（営農）
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2003～3/2004、PDM 成果）

活動	事業進捗状況							期間中直面した問題	次段階の目的と活動	
	予定	10	11	12	1	2	3			
4(1) TAIBA NDIAYE においてニーズに沿った営農事業化計画を立案する	予定→						カウンターパートは配置されているものの、省が異なるため、調整が困難である。	(目的) ・ 住民による生産活動多様化活動の継続 ・ 住民生活の環境向上 (活動プログラム) ・ 生産活動多様化プログラム活動の継続 ・ MOUKH MOUKH における営農事業の開始 ・ TAIBA NDIAYE における営農事業の開始	
4(2) TAIBA NDIAYE において活動を実施するための体制を決定する	実施	→								
4(3) TAIBA NDIAYE において活動実施に向けた準備をする (資機材購入、施設建設等)	予定→								
	実施	→								
4(4) TAIBANDIAYE、MOUKHMOUKH 周辺地域において市場調査を実施する	予定→								
	実施	→								
4(5) MOUKH MOUKH において営農計画を立案する	予定→								
	実施	→								
4(6) MOUKH MOUKH において活動を実施するための体制を決定する	予定→								
	実施	→								
4(7)MOUKH MOUKH において活動実施に向けた準備をする	予定→								
	実施	→								
カウンターパートへの技術移転進捗状況 カウンターパートとの連携が弱いことも原因となっているが、基本的に現在技術移転している対象はカウンターパート以上に地元住民に重点を置いている。今後は、プロジェクトの成果をカウンターパートに見せつつ、技術移転を図って行きたい。										

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 浜岡真紀
 成果 (期間: 5/2003~6/2003) (成果は PDM における成果と同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
2. 水管理委員会が適正に運営される。	ジェンダー配慮 (男女の参加) に関連した指標がないため、プロジェクトチーム内で成果 2 に関する以下の指標の追加が検討されている。	- セネガルにおける類似プロジェクトのジェンダー配慮に関する取組みの調査を実施する	- 他ドナーのプロジェクトにおけるジェンダー配慮事項、ジェンダープログラムに関する調査分析を行った。 - 対象村落における生産活動やコミュニティ活動におけるジェンダー配慮の有無と実体、男女別参加状況、開発に関するニーズ調査等の調査分析を行った。	対策
	2-5 全サイトにおいて事務局女性メンバーの割合が少なくとも 1/3 を占める。 2-6 代表者委員会のメンバーが全サイトにおいて男女同数となる。 2-7 全ての会合は少なくとも 50% の女性の出席を得る。	- 対象サイトグループ 1 における「社会ジェンダー調査」を実施する。 - 各プロジェクト活動におけるジェンダー配慮に関する留意点の確認とプロジェクトにおける基本方針をまとめる。	- プロジェクトチーム内で PCM ワークショップを開催し、ジェンダー配慮に関する認識の共有化を促進した。 - 「ジェンダーワークショップ」を開催し、ジェンダー配慮に関する留意点を確認した。 - 「ジェンダー配慮ガイドライン」を作成し基本方針をまとめた。 - 現在の PDM にはジェンダー配慮 (男女の参加) に関連した指標がないため、プロジェクトチーム内で「PCM ワークショップ」において、左記指標の追加が検討された。PDM の改定については更に協議を行い、合同調整委員会で合意を図る。	

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 浜岡真紀
 成果に向けての事業進捗状況 (期間: 5/2003~6/2003、PDM 成果)

事業進捗状況		期間中に直面した問題							次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9		(目的) ・グループ 1、2 の ASUFOR 啓蒙普及活動における女性の積極的な参加等の社会ジェンダーに関する啓蒙活動の推進
	実施	4	5	6	7	8	9		
・セネガルにおける類似プロジェクトのジェンダー配慮に関する取組みの調査を実施する	予定	▶						
	実施		→						
・対象サイトグループ 1 における「社会ジェンダー調査」を実施する。	予定	▶						
	実施		→						
・プロジェクトチーム内で PCM ワークショップ及び「ジェンダーワークショップ」を開催し、ジェンダー配慮に関する認識の共有化を促進した。	予定			▶					(活動プログラム) ・社会ジェンダー、住民参加プログラム等のソフトに係わるデータの蓄積と共有化の促進。 ・ASUFOR 啓蒙普及活動におけるジェンダー配慮状況のモニタリングとフィードバック。
	実施			▶					
・「ジェンダー配慮ガイドライン」を作成し基本方針をまとめた。	予定			○					
	実施			●					
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは、2001 年 6 月から 12 月まで Ecole Nationale d'Economic Appliquée において参加型開発や住民普及啓蒙活動に関する理論や手法に関するコースを自費で受講した経験を有し、社会/ジェンダー配慮に関する知識や手法もある程度理解はしている。今後の技術移転事項としてはコンセプトや手法をどのように実践活用してゆかが課題となる。強化すべき事項としてはレポーティングスキル、コンピュータースキルなどが挙げられる。									

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 後藤雅哉
 成果 (期間 : 4/2003~9/2003) (成果は PDM における成果に同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
2. 水管理委員会が適正に運営される	2.1 対象サイトで従量制により、水料金が徴収される	2-①ASUFOR 啓蒙教材が制作される	左項の項目は全て期間内に実施された	
	2.2 対象サイトで水料金徴収率が 80%以上となる	2-②第 1 グループのベースライン調査を実施される		
	2.3 対象サイトで水管理委員会が銀行口座を開設する	2-③DEM アニメータに対する ASUFOR 啓蒙普及研修が実施される		
	2.4 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が関与される	2-④第 2 グループのサイトが選定される		
4. 実証サイトにおける生産活動が多様化する	4.1 実証サイト住民が X 年までに新たな水の有効利用方法を習得する	2-⑤ASUFOR 啓蒙普及活動		対策
		計画が策定される		
5. 対象サイト住民の安全な水に関わる衛生習慣が改善される	5.1 安全な水に関わる衛生教育実施対象サイトの住民が適切な衛生習慣を実践する	4-①実証サイトにおいてベースライン調査を実施される		効果 (プラス/ マイナス)
		4-②実証サイト住民のニーズを把握される		
		4-③ニーズに沿って活動計画が検討される	・地方意地管理センターとの交流が活発になり、ASUFOR 全国展開に向けた方策に見通しが立った ・アニメータの不足を地方維持管理センター職員で補う見通しが立った ・教材の効果の見通しが立った	
		5-①衛生啓蒙普及教材が作成される		
		5-②DEM アニメータに対して、衛生啓蒙普及研修が実施される		

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 後藤雅哉
 成果に向けての事業進捗状況 (期間 : 4/2003~9/2003、PDM 成果)

活動	事業進捗状況							期間中直面した問題	次段階の目的と活動
	予定	4	5	6	7	8	9		
2-(1)ASUFOR 啓蒙普及教材を作成する	予定						(目的) ・ ASUFOR 啓蒙普及活動の継続 ・ モニタリング体制の確立と実施 ・ 保健衛生教育の準備、実施 ・ 生産活動多様化プログラム内容の協議、準備および活動開始 (活動プログラム) ・ 第 2 グループへの ASUFOR 啓蒙普及 ・ 生産活動多様化サイトにおけるプログラム実施準備作業および実施 ・ 保健衛生教育の実施	
	実施		—————						
2-(2)第 1 グループのベースライン調査を実施する	予定							
	実施		—————						
2-(3)ASUFOR 啓蒙普及員養成研修を実施する	予定							
	実施				—————				
2-(4)ASUFOR 啓蒙普及活動計画を策定する	予定							
	実施				—————				
2-(5)第 2 グループのサイトが選定される	予定							
	実施				—————				
4-(1)生産活動多様化サイトでベースライン調査を実施する	予定							
	実施	—————							
4-(2)ニーズに沿った活動の具体案の検討を開始する	予定							
	実施				—————				
5-(1)保健衛生教材が作成する	予定							
	実施	—————							
5-(2)普及員に対して保健衛生教育研修を行う	予定							
	実施				—————				
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
ASUFOR 啓蒙普及にかんする技術移転は DEM 本局に勤務する正規カウンターパートおよび地方に配属されている DEM 職員に対しても着実に技術移転は進んでいる。実地研修の様子からも啓蒙普及ノウハウを習得しつつあることが伺えた。また、ベースライン調査実施時においてもカウンターパートを同行させ、それら手法について技術移転を行った。									

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 後藤雅哉 / 啓蒙普及 (住民)
 成果 (期間 : 10/2003 ~ 3/2004) (成果は PDM における成果に同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
2 水管理委員会が適正に運営される	2.2 対象サイトで従量制により、水料金が徴収される	2-①グループ1,2に対してASUFOR啓蒙普及計画が策定され、DEM 本局、地方職員、先進サイトメンバーによってASUFOR 啓蒙普及が実施される	1つのサイトにおいて住民側で役員人選に関して異議を唱えており、旧体制で運営が続いているため、ASUFOR はスタートしていない	同サイトでは農/牧民間の争いが以前より存在した
	2.5 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる	2-②第3グループのサイトが選定される		
	2.6 対象サイトで水管理委員会が銀行口座を開設する	2-③第1,2グループに対してモニタリングシートを配布し、記入方法を指導する		
	2.7 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が関与される	2-④第1,2グループサイトにおいてカウンター設置のための住民負担料金が徴収される 2-⑤ カウンターが設置される		
				対策
				県知事、地方職員を中心に協議を定期的に進めているが、最終的には役員構成を両民族に配慮した特殊な形になるものと考えている
				効果 (プラス/ マイナス)
				<ul style="list-style-type: none"> ASUFOR 啓蒙普及時に地方職員の起用を積極的に行った結果、地方職員の自覚が生まれ始めた ASUFOR による水管理が順次始まり、

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 後藤雅哉 / 啓蒙普及 (住民)
 成果に向けての事業進捗状況 (期間 : 10/2003 ~ 3/2004、PDM 成果)

活動	事業進捗状況							期間中直面した問題	次段階の目的と活動
	予定	10	11	12	1	2	3		
	実施	10	11	12	1	2	3	とくになし	(目的) ・ ASUFOR 啓蒙普及 ・ ASUFOR 定着後の成果
2(1) グループ1,2に対してASUFOR啓蒙普及する	予定		(活動プログラム) ・ ASUFOR 啓蒙普及 ・ ASUFOR モニタリング体制の確立、実施
	実施		
2(2) 第3グループのサイトを選定する	予定		
	実施		
2(3) 第1,2グループに対してモニタリングシートを配布し、記入方法を指導する	予定		
	実施		
2(4) 第1,2グループサイトにおいてカウンター設置のための住民負担料金を徴収する	予定		
	実施		
2(5) カウンターを設置する	予定		
	実施		
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
DEM 本局職員および地方職員の ASUFOR 啓蒙普及活動における積極的な参加は非常に評価でき、経験が積み重なると共に次ステップの活動を先読みして作業を進めるなど確実に ASUFOR 啓蒙普及技術の移転は進んでいることが伺える。									

14-2 プロジェクト事業進捗報告書
(第3年次)

プロジェクト事業進捗報告書 1：石井信行／総括・啓蒙普及（行政）
 成果（期間：4/2004～8/2004）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	DEM内に下記3種の定例協議会を設置し、給水施設維持管理システム構築に向けて行政、村落住民および民間業者の役割を明確にする。 ・DEMプロジェクト代表者連絡協議会 ・維持管理本部長連絡協議会 ・3局(DEM・DEH・DGRE)連絡協議会	3種の協議会において、民間業者の選定留意事項及び契約に関する試案が作成された。 第3年次中間報告セミナーで関係機関に公表され、引き続き詳細な検討を進めることが合意された。	
	1-2. 行政側が2ヶ月に1回の割合で対象サイトの定期点検を行う。			
	1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。			
3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行なわれる。	3-1. 対象サイトで月に1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	対象サイト代表者及び関係機関よりプロジェクトに対する理解と協力を得るべく、下記セミナーを開催し、適正な水利用及び給水施設維持管理に関わるシステム構築に関する認識の共有を図る。 ・タンバクダ地方セミナー ・第3年次中間報告セミナー	左記セミナーが期間内に実施され、プロジェクトの各活動に関する趣旨、進捗状況が報告された。	インパクト（プラス/マイナス） 期間内に実施された連絡協議会において、関係機関及び参加者から対象地域での活動に関する合意、期間内の活動進捗に関する理解を得た。

プロジェクト事業進捗報告書 2：石井信行／総括・啓蒙普及（行政）
 成果に向けての事業進捗状況（期間：4/2004～8/2004、PDM 成果）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9		(目的) ・ASUFOR 側目標積立金額の算定方法及び算定額に関する確認 ・村落住民および民間業者の間で締結される給水施設維持管理契約の締結 (活動プログラム) ・ASUFOR 側目標積立金額の算定方法及び算定額に関する確認 ・村落住民と民間業者の給水施設維持管理契約に関する契約締結準備
	実施	4	5	6	7	8	9		
1-1 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。	予定	→						
	実施		————→						
1-4 行政による啓蒙普及体制（活動の評価・モニタリングを含む）を確立する。	予定			→				
	実施				————→				
2-5 活動予定を基に水管理組合に関する/ 2-6 持続的な観水利用モデルに関するセミナーを開催する	予定						○		
	実施						●		
	予定								
	実施								
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは、プロジェクトチームと共に第3年次の各種現地調査や関係機関との協議等の実施を通じて、プロジェクト活動の中で発生する様々な諸問題への対応や問題解決に取り組んでおり、各活動の実施における計画管理や調整手法等に焦点を当てた技術移転を先年次より継続して行なっている。									

プロジェクト事業進捗報告書1：石井信行／啓蒙普及（行政）
 成果（期間：10/2004～2/2005）（成果はPDMにおける成果と同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1. 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が100%水管理委員会の積立金から賄われる。	DEM内に下記3種の定例協議会を設置し、給水施設維持管理システム構築に向けた協議を継続する。 ・DEMプロジェクト代表者連絡協議会 ・維持管理本部長連絡協議会 ・3局(DEM・DEH・DGRE)連絡協議会	3種の協議会における協議結果が第3年次活動報告セミナーで関係機関に公表され、引き続き詳細な検討を進めることが合意された。	対策
	1-2. 行政側は契約に基づいた水管理委員会と民間業者の役割に関する監理を行なう			
	1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。	民間業者候補の選定を行い、民間業者側の契約締結準備、及び水管理委員会側の受け入れ準備を行う	民間業者候補が選定され、G1G2の対象サイトにて水管理委員会側の受け入れ準備が開始された	
3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行なわれる。	3-1. 対象サイトで月に1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	G1G2の対象サイトにて水管理委員会側へ水利用ガイドラインを配布し、ガイドラインに沿った水利用に付いての説明を行う。	G1G2の水管理委員会に水利用ガイドラインが配布され、ガイドラインに沿った水利用に付いての説明が行われた。	インパクト（プラス/マイナス） 期間内に実施された連絡協議会において、関係機関及び参加者から対象地域での活動に関する合意、期間内の活動進捗に関する理解を得た。
	3-2. 対象サイトのオペレータと水管理委員が水利用ガイドラインについて説明できる。			

プロジェクト事業進捗報告書2：石井信行／啓蒙普及（行政）
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2004～2/2005、PDM 成果）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動 (目的) ・ASUFORと民間業者の給水施設維持管理に関わる契約締結の推進 ・給水施設維持管理システム構築と行政側の体制に関する整備 (活動プログラム) ・地方給水事業におけるセネガル側の改革を視座に入れた維持管理体制の構築 ・地域の状況に応じた維持管理契約の推進
活動	予定	10	11	12	1	2	3		
	1-2 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。	予定	
実施			
1-4 行政による啓蒙普及体制（活動の評価・モニタリングを含む）を確立する。	予定		
	実施		
3-5 啓蒙普及サイトのオペレータと水管理委員に対し、ガイドラインに沿った水利用に付いて指導する。	予定		
	実施		
2-7 活動予定を基に水管理組合に関する/ 4-6 持続的な観ず利用モデルに関するセミナーを開催する	予定					○			
	実施					●			
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
カウンターパートは、プロジェクトチームと共に第3年次の各種現地調査や関係機関との協議等の実施を通じて、プロジェクト活動の中で発生する様々な諸問題への対応や問題解決に取り組んでおり、各活動の実施における計画管理や調整手法等に焦点を当てた技術移転を行なった。セミナー等においてはJICA専門家とカウンターパートがペアとなって発表内容を分担してプレゼンテーションを行なった。カウンターパートの習熟度に応じた技術移転を第4年次も継続して行く。									

プロジェクト事業進捗報告書 1 : 吉川 淳 / 給水施設

成果 (期間 : 04/2004 ~ 09/2004) (成果は PDM における成果に同じ)

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
1 行政、村落住民および民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。	1-3 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。	プロジェクト対象 25 サイト周辺における民間メンテナンス業者の実態調査 (専門技術、人員、所有資機材等) を実施し、結果をデータベース化する。	全国の地方都市において、民間メンテナンス業者の実態調査を実施し、調査結果をデータベースとしてまとめた。 また、民間業者データベースの情報をオペレータが有効利用できるよう、業務マニュアルに掲載した。	インパクト (プラス/マイナス) これまでまとめた情報がなかった全国主要地方都市の民間業者の実態が調査された結果、住民主導による給水施設メンテナンスに活用可能な業者が 72 社確認され、データベース化された。この情報は今後の維持管理システム構築に有効に活用される。
2 水管理委員会が適正に運営される。	2-1 対象サイトで従量制により水料金が徴収される。	グループ 3 対象のうち前半 6 サイトにおいて施設現況調査を実施し、従量制による水料金徴収のための水道メータ設置計画を策定する。同計画に基づき必要な資機材の調達および設置を行う。	グループ 3 対象 6 サイトで施設現況調査を実施し、水道メータ設置計画を策定した。 JICA セネガル事務所より機材供与費を受領し水道メータおよび必要資機材の現地調達を行った。7 月より各サイトにおいてメータ設置作業が開始された。	タンバクンダ維持管理本部にてオペレータ研修施設建設が開始された。完工後は、これまでルガのみで実施していた研修をタンバクンダでも実施可能となり、今後の地方村落給水施設オペレータ養成の効率化に大きく貢献する。

プロジェクト事業進捗報告書 2 : 吉川 淳 / 給水計画

成果に向けての事業進捗状況 (期間 : 04/2004 ~ 09/2004) (活動は PDM における活動に同じ)

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	4	5	6	7	8	9		
		実施	4	5	6	7	8	9	
1-1 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する	予定								
	実施								
1-2 給水施設の補修・改修・拡充システムを構築する (給水施設現況調査、資機材調査、関連データベース整備等)	予定								(活動プログラム) 1-1. タンバクンダ維持管理本部オペレータ研修施設竣工 1-2. グループ 1,2 対象サイトにおけるオペレータ再訓練プログラム実施
	実施								
1-5-1 全国 3 ヶ所の維持管理本部セミナー施設の整備を行う	予定								
	実施								
カウンターパートへの技術移転進捗状況									
第 3 年次より、タンバクンダ維持管理本部所長ムッサ・ディオップが給水施設担当カウンターパートとして加わった。同カウンターパートは、同じく給水施設カウンターパートであるルガ維持管理本部所長ンジャメ・ディオップが第 2 年次で実施したルガ、ンジューム、マタムの民間メンテナンス業者調査の経緯と調査方法を踏襲して、タンバクンダ、コルダ、ジゲンショー州の民間業者調査を実施した。調査は、当方の現地作業開始前にすべて完了しており、現地入り後すぐにデータベース化を開始できた。さらにムッサ・ディオップは、同民間業者データベースの中からグループ 3 対象サイトの水道メータ調達・設置業者を選定し、資材の発注および設置作業の監理を実施している。									2. グループ 3 対象サイトにおける水道メータ設置

プロジェクト事業進捗報告書 1：吉川 淳／給水施設
 成果（期間：10/2004～2/2005）（成果は PDM における成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定されていた目標を達成できなかった場合とその原因
2.水管理委員会が適正に運営される。	2-1 対象サイトで従量制により水料金が徴収される。	グループ3対象のうち後半6サイトにおいて施設現況調査を実施し、従量制による水料金徴収のための水道メータ設置計画を策定する。同計画に基づき必要な資機材の調達および設置を行う。	グループ3対象6サイトで施設現況調査を実施し、水道メータ設置計画を策定した。JICA セネガル事務所より機材供与費を受領し水道メータおよび必要資機材の現地調達を行い各サイトにおいてメータ設置が行われた。	
		対象サイトグループ1、2のオペレータを対象として再訓練を実施する。	施設オペレータ再訓練のための手法としてツールをまとめた再訓練パッケージを策定し、対象サイトグループ1及び2のオペレータ再訓練を実施した。	

インパクト（プラス/マイナス）
 オペレータ再訓練パッケージは、維持管理本部又は維持管理センターレベルで実施する再訓練システムとして有効であり、オペレータの交代等の際にも迅速な対応が可能である。

プロジェクト事業進捗報告書 2：吉川 淳／給水計画
 成果に向けての事業進捗状況（期間：10/2004～2/2005、PDM 成果）

事業進捗状況								期間中に直面した問題	次段階の目標と活動
活動	予定	10	11	12	1	2	3		
		実施	10	11	12	1	2	3	
1-1 行政、村落住民および民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。	予定→							2. カオラック維持管理本部オペレータ研修施設の整備
	実施	————→							
1-5-1 全国3ヶ所の維持管理本部セミナー施設の整備を行う。	予定▶						(活動プログラム) 1-1. カオラック維持管理本部オペレータ研修施設施工管理	
	実施	————▶							
1-5-3 対象サイトのオペレータに対するトレーニングを実施する。	予定▶						1-2. グループ3対象サイトにおけるオペレータ再訓練プログラム実施	
	実施	————▶							
カウンターパートへの技術移転進捗状況									2. オペレータ活動のモニタリング
第3年次後期より、カオラック維持管理本部長ガサマ氏がカウンターパートとして加わり、給水施設担当カウンターパートは3人体制（セネガル北部、中部、南部をそれぞれ担当する）となった。ガサマ氏は第4年次にカオラック実施されるオペレータ研修施設の敷地選定等の準備作業を開始した。 セネガル南部担当カウンターパートであるタンバクダ維持管理本部長ムッサ・ディオップ氏は、対象サイトグループ1の水道メータ調達・設置業者を選定し、資材の発注および設置作業の監理を実施した。また同氏は2005年1月に本邦研修を受け、今後本プロジェクトで指導的役割を担う能力を更に深めた。 セネガル北部担当カウンターパートであるルガ維持管理本部長ンジャメ・ディオップ氏は、対象サイトグループ1及び2のオペレータ再訓練をJICA専門家と共に実施し、JICA専門家の指導の下、オペレータ再訓練の具体的な手法を取得した。									

プロジェクト事業進捗報告書1：深井善雄／副総括・住民組織化
 成果（期間：4/2003～9/2004）（成果はPDMにおける成果に同じ）

成果	指標	期間内目標	期間内実施事項	予定された目標を達成できなかった場合とその原因
2 水管理委員会が適正に運営される	2-1 対象サイトで従量制により、水料金が徴収される	2-①グループ3に対してASUFOR啓蒙普及計画が策定され、DEM 本局、地方職員、先進サイトメンバーによってASUFOR 啓蒙普及が実施される 2-②第1,2 サイトにおける ASUFOR 定着度を確認する	・交通事情が悪いサイトではシネバス上映後は雨期明けを待つ ・インパクト調査については8月末より、調査項目について協議をはじめ、内容が固まり次第実施する(プロGRESレポート2作成段階ではインパクト調査内容協議中であった)	・シネバス上映待機については降雨による道路状況が不良のためである ・それ以外の項目は当初の目標を達成した
	2.2 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる			
	2.3 対象サイトで水管理委員会が銀行口座を開設する			
	2.4 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が関与される			
4 実証サイトにおける生産活動が多様化する	4.1 水管理委員会事務局が生産活動への資金支援を行う	4-①住民の生産活動への参加状況をモニタリングする		対策 雨期明けを待って、シネバス上映会を開始する
	4.2 生産活動多様化プログラムに参加している住民収入が向上する	4-②住民の収入の向上度合いを確認する		
5 対象サイト住民の安全な水に関わる衛生習慣が改善される	5.1 各サイトのシネバス上映会に一定以上の住民が参加する	5-①第3グループに対して衛生啓蒙普及研修が実施される		
	5.2 住民の保健衛生意識に関する理解度が向上する	5-②グループ1から順次シネバスを開始する 5-③年度後半の水場の環境整備計画が立案される 5-④インパクト調査により、住民の理解度を確認する		

プロジェクト事業進捗報告書2：深井善雄／副総括・住民組織化

成果に向けての事業進捗状況（期間：4/2004～9/2004、PDM 成果）

事業進捗状況		期間中直面した問題		次段階の目的と活動						
活動	予定	4	5	6	7	8	9	特に問題なし	(目的) ・ ASUFOR 啓蒙普及成果の検証 ・ 住民による生産活動多様化活動実施支援 ・ 住民生活の環境向上支援 (活動プログラム) ・ ASUFOR 啓蒙普及 ・ ASUFOR モニタリング体制の確立、実施 ・ 保健衛生教育の実施 ・ 生産活動多様化プログラム活動の継続支援	
	実施	4	5	6	7	8	9			
2① グループ3-1 に対してASUFOR啓蒙普及する	予定→								
	実施	————→								
2② 第1,2 グループに対してモニタリングを実施する	予定→								
	実施	————→								
4① 営農、畜産事業のための住民参加を支援する	予定→								
	実施	————→								
4② 生産活動多様化プログラムのインパクトを図るための準備を行う	予定→								
	実施	————→								
5① 第3-1 グループに対して衛生啓蒙普及研修を実施する	予定→								
	実施	————→								
5② 改良かまどの普及を行う	予定→								
	実施	————→								

カウンターパートへの技術移転進捗状況

地方職員を正式にカウンターパートとして採用されたことから、現場との連携が密になり、効果的な活動が実施できるようになった。また、地方職員も活動に対する意識が高まり、技術習得に対する意欲も高い。中央の職員に対する技術移転と共に現場で実務に従事している職員へのこ入れも今後積極的に図っていきたい。そして、その結果はDEMが目指すASUFOR全国展開の実現に向けて、大きく寄与するものとする。